

# 平成24年度ホタテガイ採苗情報（第5報）

平成24年5月30日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター  
関係漁業協同組合



## 県中南部で付着稚貝数が増加

### < 調査結果の概要 >

- ラーバの出現数は、横這い～減少傾向です。
- 試験採苗器の付着稚貝数は8～385個/袋でした。唐丹湾では前回（28個/袋）より増加し、そのうち3割が付着直後の稚貝でした。
- 唐丹湾の水深10m層の水温は11.5℃と、平年より1℃程高めとなっています。透明度は11m（前回8m）でした。
- 釜石以南の県中南部と南部では採苗器の投入適期。
- 採苗器は、例年より多めに準備し、複数回に分けて投入してください。

### < 陸奥湾の状況（5月24日発行青森県採苗速報） >

- ラーバの出現数は全湾平均で1,126個/m<sup>3</sup>と、前回より減少。
- 試験採苗器の付着稚貝数は283～1200個/袋（7～8日間）でした。
- 東湾では採苗器を投入、西湾では投入完了の指示。

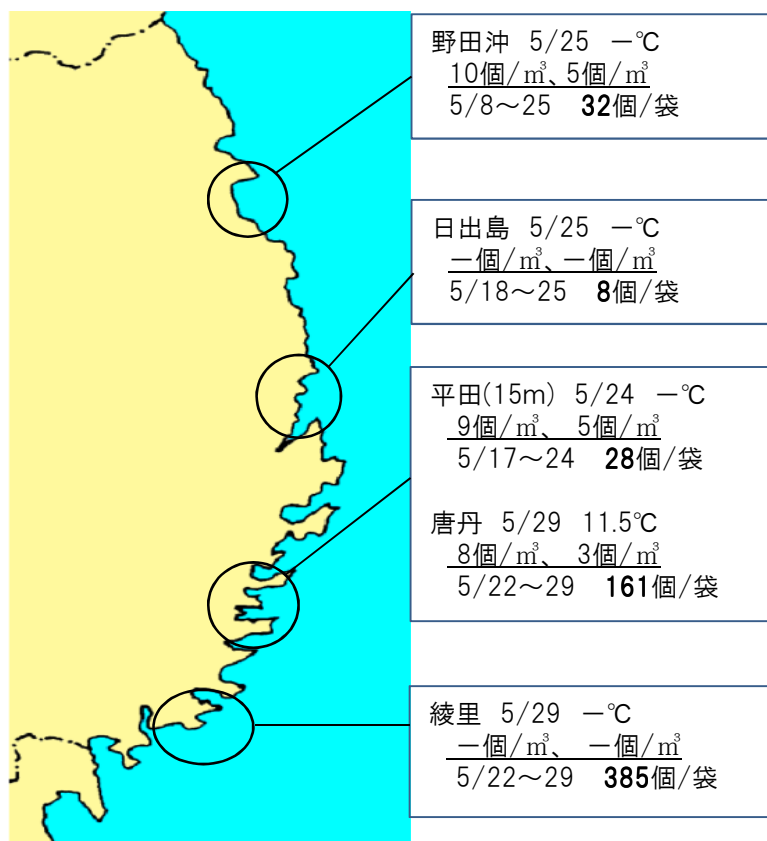


図1 各定点の調査結果

調査点 調査日 10m層水温  
ラーバ出現数(200μ未満、200μ以上)  
試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

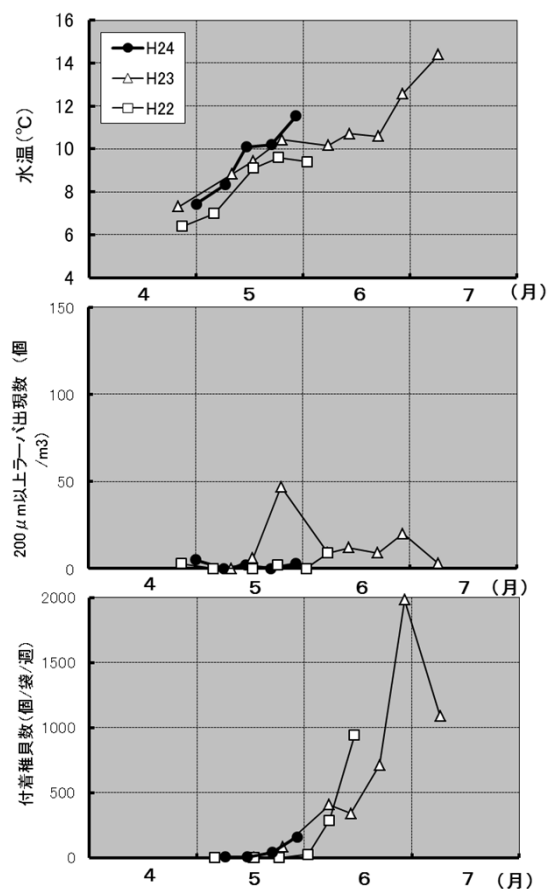


図2 唐丹湾における水深10m層  
水温とラーバ・付着稚貝の出現状況

次報は、6月6日に発行する予定です。